

ARIBからの
お知らせ

社団法人電波産業会 第21回通常総会の開催のお知らせ

会員の皆様には、先に文書でお知らせしましたが、第21回通常総会を下記のとおり開催しますのでお知らせします。

なお、通常総会終了後に懇親会を開催いたしますので、併せてご出席ください。

記

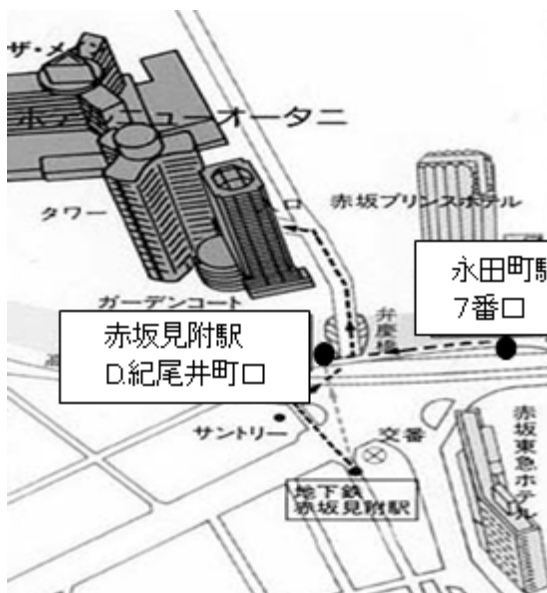
- 1 日時 平成18年2月23日(木) 午後4時30分から5時30分まで
- 2 場所 ホテルニューオータニ 鳳凰西の間(タワー宴会場階)
千代田区紀尾井町4-1(電話：03-3265-1111)

3 議題

- ア 平成17年度収支予算の補正について
- イ 平成18年度の事業計画及び収支予算について
- ウ 会費等規程の一部改正について
- エ IMT-2000研究委員会規程の全部改正について
- オ 補欠役員の選任について
- カ 補充役員の承認について
- キ その他

- 4 懇親会 時間 午後5時30分から7時まで

場所 ホテルニューオータニ 鳳凰東の間(タワー宴会場階)



会場への行き方

- 地下鉄半蔵門線/有楽町線/南北線・永田町駅下車徒歩3分
- 地下鉄丸の内線/銀座線・赤坂見附駅下車 徒歩3分
- 地下鉄有楽町線・麴町駅下車 徒歩6分
- 地下鉄丸の内線・南北線/JR中央線/総武線・四ツ谷駅下車 徒歩8分

第117回技術委員会(放送分野)が開催される

第117回技術委員会が開催されましたので、その概要をお知らせいたします。

1 日時 平成18年1月31日(火) 午後2時から3時15分まで

2 場所 当会第2会議室

3 議事概要

- (1) 素材伝送開発部会委員長から、素材伝送開発部会の活動について報告がありました。
- (2) 事務局から、アナログ周波数変更対策業務について、進捗状況の報告がありました。
- (3) 事務局から、当会の最近の活動状況について報告がありました。
- (4) 次回の技術委員会(放送分野)は、平成18年3月22日(水)午後2時から開催することになりました。

「安心・安全な社会の実現に向けた情報通信技術のあり方」
に関する調査研究会」の開催（平成18年2月1日）

総務省では、近年社会的要請が高まっている安心・安全な社会の実現に向けて、次世代の情報通信ネットワーク技術の確立を視野におき、有効な情報通信技術について検討を行う「安心・安全な社会の実現に向けた情報通信技術のあり方」に関する調査研究会」を開催します。

1 目的

近年、安心・安全な社会の実現に対する社会的要請が高まっており、相次ぐ地震、台風、津波などに対する災害対策のみならず、食の安心、児童の安全確保など多様な問題への的確な対応が求められています。本研究会では、これらの社会的問題の解決に有効なユビキタスネットワーク技術などを最大限に利活用した次世代の情報通信ネットワーク技術を確立することを視野に入れ、安心・安全な社会の実現に向けた情報通信技術のあり方、技術課題、実現方策等について検討します。

2 検討項目

- (1) 安心・安全な社会の実現に必要なICTに求められる要件
 - ア 災害対策・危機管理
 - イ 食の安心・安全
 - ウ 児童・高齢者や弱者などの市民生活支援 等
- (2) 関連技術の動向と将来展望
 - ア 情報収集・伝達手法の技術動向
 - イ 関連技術の将来展望
- (3) 安心・安全な社会の実現に向けた研究開発課題の明確化
- (4) 実現方策

3 構成員

<http://www.soumu.go.jp/s-news/2006/060201_1.html#bs>を参照ください。

4 スケジュール

平成18年2月8日に第1回会合を開催し、平成18年6月を目途に中間とりまとめを行い、平成19年3月頃に最終報告を行う。

詳細は、<http://www.soumu.go.jp/s-news/2006/060201_1.html>を参照ください。

UWB無線システム委員会 報告(案)に対する意見の募集 (UWB無線システムの技術的条件について) (平成18年2月2日)

情報通信審議会情報通信技術分科会UWB無線システム委員会(主査:安藤 真 東京工業大学 理工学研究科教授)は、平成14年9月からUWB無線システムの技術的条件について審議を行ってきましたが、このたび、報告(案)をとりまとめました。

報告(案)本文 : <http://www.soumu.go.jp/s-news/2006/pdf/060202_2_1.pdf>

参考資料 : <http://www.soumu.go.jp/s-news/2006/060202_2.html#sa>

つきまして、本報告(案)に関して広く国民の皆様から以下の要領で意見を募集いたします。

1 意見募集の対象

情報通信審議会 情報通信技術分科会 UWB無線システム委員会 報告(案)

2 概要

情報通信審議会情報通信技術分科会UWB無線システム委員会は、平成14年9月からUWB無線システムの技術的条件について審議を行っており、これまでの審議結果についてとりまとめたものです。

なお、「UWB無線システム委員会 報告(案)」は、準備が整い次第、総務省ホームページの「報道発表」欄及び電子政府の総合窓口(<http://www.e-gov.go.jp>)の「パブリックコメント」欄に掲載するとともに、連絡窓口において閲覧に供することとします。

3 意見募集の要領

<http://www.soumu.go.jp/s-news/2006/060202_2.html#bs>を参照ください。

4 募集期限

平成18年3月3日(金)午後5時まで

詳細は、<http://www.soumu.go.jp/s-news/2006/060202_2.html>を参照ください。

欧州電気通信 の動き

新たなテレビ放送手段、仏国民に浸透

【Le FIG-ECO,2006/01/19】

メディアエージェンシーのOMDが行った調査(15~60才の1424人を対象)によると、2005年のテレビ関連で目立った出来事として、地上デジタル・テレビジョン放送の開始(65%)、ADSLテレビの普及(41%)、米国作品の連続ドラマのプライムタイムでの放送(22%)、ドキュメンタリー番組のプライムタイムでの放送(21%)、カナルサットとTPSの接近(19%)などが目立った。

このほか、テレビ局のイメージ調査では、M6がダイナミックで革新的との評価を受け、「1つだけテレビ局を残すとしたら」という問いには、21%がTF1と答えている。

CSA、地上デジタル上でのローカル放送を許可

【Les Echos,2006/01/26】

仏日刊紙Les Echosによると、CSA(仏視聴覚最高評議会)は、地上デジタル放送でのローカルテレビ局のため、既存のマルチプレックスの見直しを通じ、周波数を確保する模様である。

具体的には、CSAでは、現在マルチプレックスR1で放送されている仏国営テレビ局フランス4を、マルチプレックスR2に移すことによって周波数確保することを検討している。そして、このようにして捻出された周波数を、仏国営テレビ局フランス3によるローカル放送か、一部都市でのローカル局に割り当てるとしている。

このような見直しは2006年6月から10月にかけて行なわれる見込みで、その後、CSAはHDTVとモバイルTVの周波数割当問題进行处理することになると伝えられている。

トリノオリンピックの日本選手団の遅塚研一団長は日本の獲得メダル数について、「金メダルは加藤条治(スピードスケート男子500m)1つだけと思うが、銅まで入れたら8個はいけると思う。」と頼もしい予想をしています。しかし、その内訳は、「スピードスケート3個、フィギュアスケート1個、スノーボードが男女1個ずつの計2個。これらに加え、ジャンプで岡部孝信が3位まで飛んできてくれないかなあ。モーグルも里谷多英でいいから獲ってくれ。」と願望が相当に含まれているようです。編集子の向かいの席のG氏にメダル獲得予想数を聞いてみたら「せいぜい1~2個だろうね。」という回答で、編集子と全く同じ予想でしたが、こちらの予想はずれてメダルを1個でも多く獲得してほしいと願っています。

ところで、トリノとの時差は8時間とのことで、ライブ放送のほとんどが深夜中継になります。ライブ放送にこだわる方はアテネに引き続き、翌日は睡魔との戦いになりそうですね。

(編集子:PAO)